

やはば

議会だより

232

2025.4.25

岩手県
矢巾町議会



不来方高校音楽部
ファイナルコンサート矢巾公演
(令和7年3月29日)

令和7年度予算を慎重審議…………… 2～

町政を問う

代表質問3会派・一般質問7議員… 8～

特別委員会で分科会を設置

本格的に活動をスタート…………… 19

過去の議案書などは
町議会ホームページ
に掲載中



令和7年度予算を慎重審議

3月会議は令和7年2月19日から3月18日までの期間開催されました。

その間、町の令和7年度予算に関しても審議が行われ、最終日に賛成多数で原案可決となり、新年度の予算が成立しました。

審議のうち、3月14日（金）に行われた総括質疑の内容の一部をご紹介します。

財政

質問 財政調整基金繰入金が多額となっているが、財政調整基金が減っていくことを一般的に財政危機という。

本町ではどれくらいの額で維持していく考えか。

回答 令和7年度は財政調整基金の繰入額が8億円と多額であるが、国が進めるシステムの標準化などによる一時的なものかと捉えている。

一般的には標準財政規模の10%と言われており、本町の標準財政規模は70億円と言われているため、基金は7億円が適正と捉えるが、できるだけ積み増しをして10億円以上を維持したい。

質問 団体補助金や交付金を見直すといったが、実際に減額となった団体はあるか。

回答 補助金の対象経費の中に人件費を含む団体が多くあり、現実的に大きく減額となった団体はなかった。財政援助団体への補助などは、今後も継続して見直していく。

職場環境

質問 近年、町職員の退職が増えていると感じるが、職場で職員がやりたいことを後押ししたり、抱えている悩みを引き出したりできるような相談体制、環境整備の考えはあるか。

回答 部署ごとに上司と部下がしっかりとコミュニケーションをとり、組織全体で取り組んでいく。



交通安全

質問 煙山小学校付近に設置したゾーン30プラスの効果は。

回答 効果は大変大きいと捉えている。今後、道路交通法が改正され、中央線がない道路は30^キ制限にするという報

道もあり、ゾーニングの考え方については法改正後の様子も鑑みながら検討していく。



広報

質問 広報の媒体が複数ある中で、何に重点をおいて広報活動に取り組む考えか。

回答 まずは、さまざまな媒体の周知を図っていききたい。また、各種まつりの時期は町ホームページの閲覧が多い傾向にあることから、その時期に特集記事を組むなど工夫を凝らしていきたい。

YAHABA TOWN

やはナビ! アプリのダウンロードはこちら



AppStore



GooglePlay

ふるさと納税



葛巻町との共通返礼品

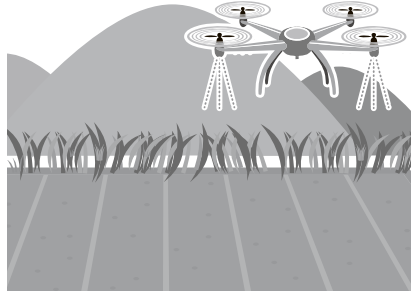
質問 ふるさと納税の目標金額2億円は、低い設定ではないか。

回答 ふるさと納税の目標金額が、令和6年度の実績が、2億600万円程度の見込みから、実績ベースで2億円を目標としているが、補正予算で増額できるよう努力する。ふるさと納税の窓口が多いほど人の目に触れ、寄付へのきっかけになることから、ポータルサイトは継続したい。

農業

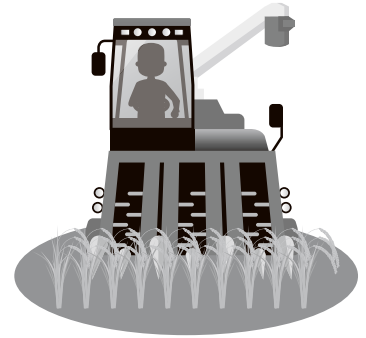
質問 大きな農機やドローンを使ったスマート農業の体験ができるインターンシップのあり方は考えているか。

回答 その仕組みづくりや、機械の故障に関する補助金などについては今後検討する。



質問 農産物消費者PR事業が減額となっているが、本来の事業のねらいと、事業回数を減らした理由は。

回答 東京都での農産物販売による町のPRがねらい。地産地消を促すこと、バイヤーなどの情報交換の場の工夫により、事業回数を2回から1回に減らし、経費を削減。



質問 海外への輸出を高めるため、海外バイヤーが集まるような首都圏の農業イベントなどに積極的に参加しては。

回答 アンテナを高くして動かなければいけないと思うので、県などとも連携して考えていきたい。

福祉

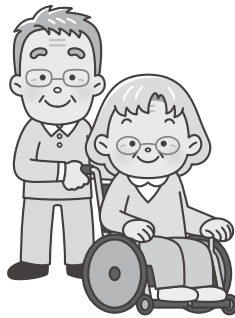
質問 令和3年度から重層的支援体制整備事業が開始され、NPO法人に委託し、フリースペースを年8回開催しているが、その後の状況は。

回答 継続して実施しており、参加者も増加傾向。訪問活動も委託で行いながら引きこもりの方への支援を続けていく。

介護

質問 引きこもりの方たちへの就労支援と、町内農家の人手不足対策を掛け合わせて考える計画はないか。

回答 現在もNPO法人を経由して、農家や農業団体の方に、引きこもりの方を紹介し農作業のお手伝いをしているケースがある。今後も継続して取り組んでいく。



質問 老老介護も増加していく中で、要介護3判定の方でも特別養護老人ホームに入所できないという。この状況はどう捉えているか。

回答 希望するすべての方が老人ホームへ入所するのが難しい時代。今後は在宅医療や在宅介護が重要になると捉えており、取り組みを検討していく。

いきたい。

また、認知症予防対策・支援にも力を入れたい。

質問 ショートステイの充実についての考えはあるか。

回答 在宅と施設の間であるデイサービスやショートステイなどもしっかりと機能するような仕組みづくりも、今後考えていきたい。

地域

質問 今後の敬老事業は、地域の世代間交流の場とするためにも見直すべきではないか。

回答 さわやかハウスの活用も図りながら検討したい。モデルとなるコミュニティがあれば一層推進されていくと思うことから地域コミュニティの協力も得たい。

質問 予約型乗合バスの停留所の見直しやシステムの再検討が必要ではないか。

回答 必要と捉えている。地域の方の声を大切にしながら総点検して取り組んでいく。

国際交流

質問 フリモント町への中高生派遣事業では9名の募集を予定しているとのことだが、渡航費などの負担も大きい。誰でも応募できるよう、募金などを検討してはどうか。

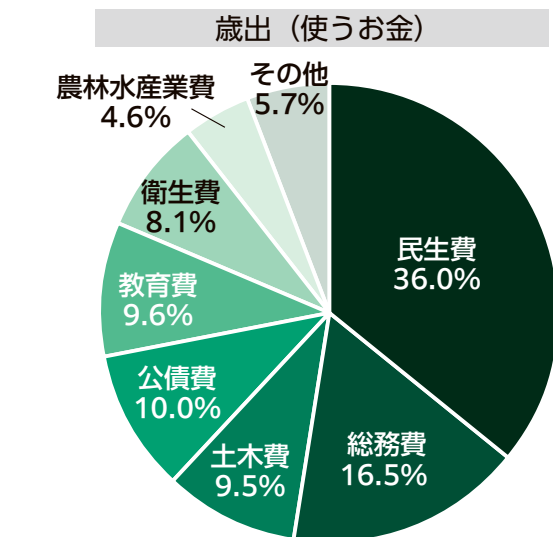
回答 町のイベントなどで募金箱の設置ができないか検討する。また、国際交流協会と協議しながら進めていきたい。



令和6年度フリモント町を訪問

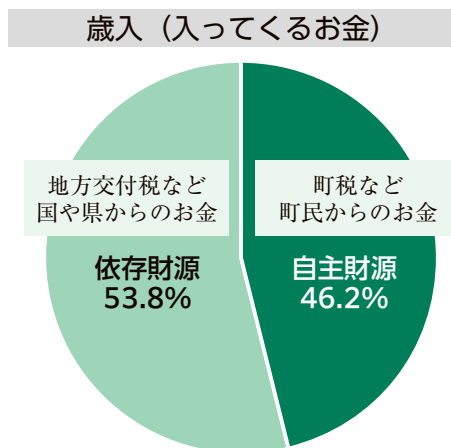
令和7年度予算概要

一般会計



民生費	児童手当や高齢者、障がい者など福祉のためのお金
総務費	庁舎や財産などの維持管理などのお金
土木費	道路や橋などの公共整備のためのお金
公債費	町が借りたお金の返済
教育費	学校や教育のためのお金
衛生費	ごみ処理、予防接種などのお金

予算の総額
118億1,250万円
 (前年度比+ 2億2,290万円)



特別会計

国民健康保険事業

国保加入者の医療や
特定健診、保健指導など

26億8,237万円

介護保険事業

介護サービスの給付、
介護予防事業など

25億8,074万円

後期高齢者医療

主に75歳以上の方の
医療に対する手続きや
保険料に関する事務など

3億3,956万円

詳細は

令和7年度予算の詳細は、
矢巾町ホームページに掲載
されています。
こちらのQRコードから
ご覧ください。



企業会計

		水道事業会計	下水道事業会計	
			公共下水道事業	農業集落排水事業
収益的	収入	8億8,144万円	8億4,204万円	2億8,847万円
	支出	7億7,159万円	8億2,599万円	3億225万円
資本的	収入	2億1,347万円	3億2,622万円	9,747万円
	支出	6億9,980万円	5億5,618万円	2億1,309万円
用語説明		収益的	水道水の供給や汚水の処理の予算	
		資本的	施設の新設や再整備の予算	

※水道・下水道事業会計は複式簿記で会計処理を行う企業会計なので、記載の方法が異なります。

賛成 村松信一議員

令和7年度も、各課が取り組みもうとする施策には特筆すべきことが多くある。小さな施策の積み重ねが、やがて大きな事業の成功につながるという考えを大切にし、細かな事業の確実な実行に期待する。また、各課が連携して施策を共同検討し、多くの効用も考えて行動されることを期待する。

反対 小川文子議員

町職員の早期退職者が多く、労働環境の改善がさらに必要である。デマンド型公共交通はもっと町民の声に寄り添い抜本的な対策が必要である。町立煙山保育園は保育機能を維持すべきである。
以上3つの観点から、反対討論とする。

討 論

討論とは、議会の会議において採決の前に他の議員の賛同を得るため、議題となつてくる案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することを行います。

予算決算常任委員会審査報告

令和7年3月11日から13日までは、各委員が総務分科会・産業建設分科会・教育民生分科会に分かれ、それぞれが所管する事業の予算内容について慎重に審議しました。また、3月14日は全体を総括して質疑を行いました。

審議を尽くした結果、3月18日は予算決算常任委員会の昆秀一委員長が、8項目の意見を付し可決すべきとの意見書を議長に提出し、その後の本会議では、賛成多数で可決しました。

8つの意見を付して可決

1 ふるさと納税は町の魅力と返礼品の工夫、リピーター掘り起こしを行い、財源確保に努められたい。

2 予約型乗合バス（デマンド交通）は、土休日運行と停留所の見直しなどを行い、利便性向上に努められたい。



3 令和7年度から開校する南昌みらい高校など、交流人口が増加することから、防犯灯や交通安全施設の充実に努められたい。

4 情報システム標準化・共通化事業においては、改修完了後、速やかに業務フローや

コストを見直し、業務効率化に努められたい。

5 農商工共創協議会の活性化で、農業と担い手支援・育成を強化し、後継者対策に努められたい。

6 田んぼダムの取り組みは、災害防止の観点からも組織の拡大および実行の強化に努められたい。

7 スクールカウンセラーなどの増員を行い、児童生徒に寄り添った支援・相談体制の拡充に努められたい。

8 いじめ事案から10年の節目を迎え、事案の風化が懸念される。改めて悲しいことが起こらないよう、防止対策を推進されたい。



人事や補正予算など26議案を可決

令和7年2月18日から3月18日までの28日間開催された3月会議では、人事に関することや条例、補正予算などの議案を慎重審議し、すべて可決されました。

議会で決めたこと

人 事

人権擁護委員

高橋 裕喜子 さん
(再任・南矢幅7区)

任期は令和7年7月1日から3年間。

固定資産評価審査委員

秋篠 孝一 さん
(再任・太田)

任期は令和7年3月25日から3年間。

補正予算

主な歳入

▽保育所運営費交付金

1億1,996万1千円

▽就学前教育・保育施設整備交付金

▲1億1,300万円

▽保育所運営費負担金

4,365万3千円

▽一般寄付金(ふるさと納税分)

▲1億2,600万円

主な歳出

▽低所得者支援及び定額減税補足給付金(調整給付)

▲2,073万円

▽就学前教育・保育施設整備費補助金

▲1億2,712万5千円

▽認定こども園施設型給付費

1億208万円

▽地域型保育給付費

1,001万円

主な質疑

質問 低所得者支援および定額減税補足給付金が減額になった背景は、周知不足などが原因なのか。

回答 調整給付は対象世帯や世帯ごとの給付額を絞るのが難しく、予算を多く確保していたため減額が多くなったが、給付率は98%でほぼ給付できている状況。

質問 認定こども園施設型給付および地域型保育給付費の詳しい説明を。

回答 人事院勧告に伴って保育士の給与などが改定されたため、その分の給付が増額となった。

請願審査

令和7年2月会議(2月4日)において教育民生常任委員会に付託された「矢巾町教育委員会および町立学校などにおいて岩手モデルを完全適用し遵守することを求める意見書の提出についての請願」の審査報告は、令和7年3月会議(2月19日)に行われ、賛成と反対の討論が繰り広げられた後、採決の結果、採択に賛成5人、反対12人で「不採択」となりました。

※議長は採決に加わりません。

委員会審査意見(一部抜粋)

本案件の解決に向け、現在も調査が継続中であること、また県立学校を想定し教師指導を対象とした岩手モデルの完全適用が児童指導の観点ですべてなじむものか疑問が生じ、数ある教育関係の指針やガイドラインのうち岩手モデル完全適用だけを求めるには時期尚早との意見もあり、事態の収拾を求める趣旨は理解するものの、今回の請願事項

である「岩手モデルの完全適用に関する意見書提出」については、委員による採決の結果、不採択と結論付けた。

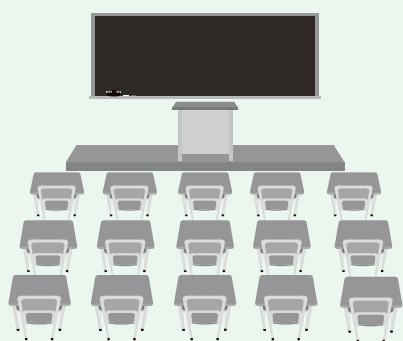
ただし、事態の収拾に向けた取り組みに注力することは、請願者、教育委員会並びに本委員会委員全員も望むところであり、速やかな事態の収束と児童生徒の学習環境の確保に向け、子どもの権利を尊重しながら、教職員の働き方改革も念頭に、各保護者など周りの大人たちも一丸となって解決に向けたさまざまな取り組みに努められることを望む。

採択に賛成の討論をした議員

高橋敬太議員、横澤駿一議員

採択に反対の討論をした議員

水本淳一議員、昆 秀一議員



各議案の採決状況

令和7年定例会1月第2回会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果
		高橋恵	高橋敬太	横澤駿一	ササキマサヒロ	吉田喜博	藤原信悦	齊藤勝浩	小川文子	木村豊	小笠原佳子	山本好章	高橋安子	水本淳一	村松信一	昆秀一	赤丸秀雄	
6請願第3号	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書採択の請願	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	採択
議案第8号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算（第9号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	可
議案第9号	令和6年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	可
発議案第2号	「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」の廃止及び実効性ある学校の働き方改革を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	可

令和7年定例会2月会議

議案第10号	町道矢次線道路改良その5工事請負契約の締結	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	可
--------	-----------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

令和7年定例会3月会議

7請願第1号	矢巾町教育委員会及び町立学校等において岩手モデルを完全適用し遵守することを求める意見書の提出についての請願	●	○	○	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	●	○	●	不採択
諮問第1号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第11号	固定資産評価審査委員会の委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第12号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第13号	特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可
議案第14号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第15号	矢幅駅東西自由通路等の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第16号	矢巾町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第17号	矢巾町矢幅駅東西駅前広場条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第18号	盛岡広域都市計画事業矢幅駅前地区土地区画整理事業施行条例の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第19号	町道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第20号	町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第21号から 議案第26号	令和7年度予算6会計（一般会計予算、国民健康保険事業特別会計予算、介護保険事業特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、水道事業会計予算、下水道事業会計予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	可
議案第27号	令和6年度矢巾町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第28号	令和6年度矢巾町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第29号	令和6年度矢巾町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第30号	令和6年度矢巾町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第31号	令和6年度矢巾町水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第32号	令和6年度矢巾町下水道事業会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第3号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第4号	矢巾町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○＝原案に賛成 ●＝原案に反対 欠＝欠席 可＝可決 否＝否決 退＝退席 注：廣田清実議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

代表質問

代表質問は、町長の施政方針演述・教育長の教育行政方針演述の内容について問うもので、今回は3交渉会派が代表質問を行い、活発な議論が展開されました。
(本町では、3名以上で構成される会派を交渉会派としています。)

- 町民の会 みずもとじゅんいち 水本淳一 議員 P 9
 - ①令和7年度施政方針について
 - ②令和7年度教育行政方針について
- 新誠会 こんしゅういち 昆秀一 議員 P10
 - ①令和7年度施政方針について
 - ②令和7年度教育行政方針について
- 矢巾未来の会 むらまつのぶかつ 村松信一 議員 P11
 - ①令和7年度行政運営について
 - ②教育行政方針他について

一般質問

一般質問は、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。3月会議では議員7人による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。掲載の質疑内容は、質問した議員の原稿によるものです。

- やがみともこ 谷上知子 議員 P12
 - ①高騰するランドセルの購入助成について
 - ②高齢者が安心して暮らせるコミュニティについて
 - ③適材適所で活かし育つ町職員の働き方について
- おがさわらよしこ 小笠原佳子 議員 P13
 - ①上下水道事業について
 - ②婚姻届の記入例について
 - ③産後ケアのサポート拡充について
- あかまるひでお 赤丸秀雄 議員 P14
 - ①町内学校の問題解決に向けた取り組み
 - ②農商工共創協議会の更なる充実活動について
 - ③地域おこし協力隊の増員と集落支援制度の活用について
- やまもとよしあき 山本好章 議員 P15
 - ①学校の教育環境整備について
 - ②一般国道4号盛岡南道路について
- たかはしけいた 高橋敬太 議員 P16
 - ①人口減少社会に対する本町の適応策は
 - ②生きがい創出と健康寿命の延伸の取り組みは
 - ③格差解消、負担軽減で安全・安心に暮らせる矢巾であるために
- おがわふみこ 小川文子 議員 P17
 - ①煙山保育園の今後のあり方と「学びの架け橋プログラム」について
 - ②今後の矢巾町の農業について
 - ③県立盛岡地区統合新設校の開校に伴う環境整備と活性化策について
- よこさわしゅんいち 横澤駿一 議員 P18
 - ①みんなにとってやさしい社会の実現に向けて
 - ②農村の持続的な発展に向けて

代表質問および一般質問通告書は
矢巾町議会ホームページをご覧ください。



代表質問通告書



一般質問通告書



みずもと じゅんいち
水本 淳一 議員
(町民の会)

動画は
こちら



今後の煙山保育園は 子育て支援の拠点機能施設に

質問 煙山保育園の今後の在り方は。

町長 従来の保育機能を段階的に縮小し「こども誰でも通園制度」の実施や「一時預かり保育」「休日保育」「医療的ケア児受け入れ」に加え、将来的には「病児保育事業」にも取り組み、子育て支援の拠点機能施設への転換を図る。

質問 「子ども誰でも通園制度」の内容は。

町長 満3歳未満であれば就労要件を問わず、月一定期間利用できる保育サービス。
令和8年の本格的実施を見据え、煙山保育園が先駆けて試行的に実施する。

農業への支援は

新たな支援も検討

質問 兼業農家・家族経営農家などへの支援策は。

町長 担い手応援事業があるが、小規模でも耕作放棄地を生まないよう、3人以上の発起人で設立可能な労働者協同組合への支援も新たに検討。



令和6年度煙山保育園卒園式（3月19日に実施）

質問 みどりの食料システム交付金の活用状況は。

町長 交付金を直接活用した実績はないが、既に環境負荷低減に向けた「みどりチェック」の取り組みは、水田活用の直接支払交付金の対象。

質問 農業経営基盤強化推進法の改正により令和7年4月以降農地の貸借方法が変わるがその利点は。

町長 農地中間管理機構を経由した農地の転貸による担い手の変更が容易になり、農地集約化の促進につながる。

教員への支援は

資質向上に向けた研修などの実施

質問 教員の資質向上のための町独自の教育研修の内容は。

教育長 生徒指導における問題行動への初期対応や、特別支援教育に関し発達障害の特徴や対応方法などを学ぶ。

全小中学校の教員を対象に開催している。

質問 令和7年度に導入する「若手県統合型校務支援システム」の効果は。

教育長 現時点で削減時間の見積りは困難だが、県一律に操作方法やデータ管理の標準化が進み、異動した際に新たなシステムの操作を覚える必要が無く、教職員が教育活動に集中しやすくなると考えられる。

地域計画の実効性は 見直しも含め、計画を支援



こん しゅういち
昆 秀一 議員
(新誠会)

動画は
こちら



質問 農業後継者の確保およびみどりの食料システム戦略をはじめとした持続的に発展可能な農業の推進について、概ね10年後に誰がどの農地を耕すか地域の農業者が話し合っで一筆ごとに定めた地域計画の作成を3月末までに行うことと農林水産省が義務付けているが、本町地域計画は意味あるものになっているのか。

町長 令和5年度から町内の25地区において協議の場を設け、農地の効率的な利用を目的に10年後の地域の集積・集約化に向けた目標地図を作成した。

地域計画策定後も、農業従事者の高齢化に伴う担い手の再検討などのため各地区で定

適応指導員と 関係者の連携は

期的に協議を行い、目標地図の見直しも含め実効性のある計画の支援に努める。

人・農地プランから地域計画へ

更新日：令和7年2月28日
担当：経営局経営政策課、農地政策課

地域農業を守ろう

農地を次世代に引き継ぐための地域計画に取り組みましょう！

高齢化や人口減少により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し続けると、地域の農地が守れなくなってしまうかもしれません。これまで地域のみなさんが守り、おいしい作物を作ってきた農地を、子や孫の世代に引き継いでいくためには、今が地域の皆さんで地域農業の将来を話し合う大事な時です。この地域での取組を後押しするため、令和5年4月1日に法律（農業経営基盤強化促進法）が施行されました。

農林水産省 ホームページより

情報を担任と共有 連携して支援

質問 発達障がいや、不登校などが増加傾向にあるため、令和7年度は適応指導員の増員を図り、きめ細かな対応を進めるとしている。

適応指導員の役割には、学校や保護者・スクールカウンセラーなどとの連携とあるが、その連携状況はどうか。

教育長 適応指導員は、主に学校内で個別に学習や生活のサポートを行う。対応状況などは随時担任などと共有しながら連携して支援にあたっている。また、必要に応じて家庭環境の把握や保護者との円滑な連携を深めるための家庭訪問を実施している。

質問 いじめへの対応について、定期的にアンケートを取っているが、そのアンケートへの対応はどのような体制でどう返答しているのか。

教育長 いじめに関するアンケートは、各学校でいじめの可能性がある事案の情報を幅広く得る目的で行っている。アンケートでいじめに該当する情報を把握した場合は、各校のいじめ対策委員会では対応策を検討し、解消に向けた指導などを行うとともに、保護者に対しては状況をお知らせしている。



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



小規模農業法人の許可は 労働者協同組合でも可

質問 本町のほ場は整備されており、作業性や働きやすさに加え、水資源や物流なども完備した優良農地である。なかなか進展しない法人化の対応として、※半農半Xを組み合わせた小規模法人としての設立は可能か。その場合の機械・機材の支援策を伺う。

町長 法人の設立手続きは比較的容易であり、労働者不足解消の一つとして、3名が揃えば労働者協同組合の設立が可能。機械の支援は、今後想定される農業支援サービス事業者に対しても必要と考える。

質問 水稻の初冬直播栽培は作業の軽減や省力化策として注目されている。本町でも課題解決のため調査研究・試験

町長 岩手中央農業協同組合や関係機関と情報共有し対応。

質問 施政方針で田んぼダムの必要性を述べられているが、取り組みが進展しない。強力に推進すべきではないか。

町長 装置の設置に要する経費と実施に伴う人的負担の解消に努め、推進強化を図る。

後期高齢者医療費が高額だが

他自治体を参考に分析に努めたい

質問 後期高齢者医療制度における本町の後期高齢者の10年間の年平均額は、一人当たり89万円強で、県平均額76万円強と比べ高額である。県内

で最も低額の田野畑村は55万円強である。このような状況をどう分析するか。

町長 病床数などの医療供給体制が要因の一つとされる。他自治体の取り組みも参考に健康寿命延伸につなげた

質問 積極的に居場所づくりに取り組む本町の閉じこもり高齢者と、居場所利用者の健康状態をどう把握し、分析しているか。

町長 運動・栄養教室など積極的に参加する高齢者が多いことから、県内上位の平均寿命であると捉えている。

児童生徒の学力向上は

個別最適な

学びを実現

質問 小学6年の国語・算数は、全国を大幅に上回る成績だが、要因は。

町長 普段の指導の結果が成績に現れた。



田んぼダム説明会

高齢者の安全安心な暮らし

保健師などの訪問活動を継続



やがみ ともこ
谷上 知子 議員
(矢巾未来の会)

動画は
こちら



交流を楽しむ地域のみなさん（高田2区）

質問 高齢者世帯、独居世帯の安否確認と対応は。

町長 高齢者の状況は、民生委員やケアマネージャーが情報を共有し、必要に応じて町の保健師や社会福祉士が訪問を行い、医療機関の受診や介護サービスの利用、地域の居場所への参加を促している。

一人暮らしを含めた高齢者のみの世帯で、介護や公的サービスを受けていない方は約200名いるが、訪問を随時行い、状況を伺っている。今後も、保健師などによる訪問活動を継続していく。

質問 防犯対策として、防犯灯設置を推進する考えは。

町長 現在、防犯灯の設置費用および電気料金の半額補助を実施。各地域で場所を検討したうえで設置している。地域のニーズを反映して安全安心な生活につながるよう、費用補助を継続し、防犯対策の醸成に努める。

**活かし育つ
町職員の働き方**

**話しやすい環境へ
整備に取り組む**

質問 上司と部下のコミュニケーションの取り方は。

町長 職員は、職位に応じた研修でコミュニケーションスキルを学んでいる。

各所属で実施する朝礼などで、交代で話す機会を設け、コミュニケーションのきっかけ作りに取り組んでいる。

質問 職員増員の必要性は。

町長 本町の条例における職員定数200名に対し、現在の職員数は186名で、定数に満たない状況ではあるが、まず現状の職務の見直しなどを行い、それでもなお職員数が不足する場合は、定数の範囲内で必要な増員を検討する。

**ランドセルの
購入助成は**

**就学援助対象者
以外への拡大困難**

質問 高騰するランドセルの購入に対し助成する考えは。

町長 経済的な困難を抱える世帯には就学援助制度による支援を行っている。

就学援助対象者以外への助成拡大は、さまざまな要因を考慮する必要がある、現段階での実施は困難と考える。

今後の水道施設の課題は 事業運営の効率化を図ること



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

動画は
こちら



質問 漏水事故の様子と人口減少時代の水道施設の課題は。

町長 近年の漏水事故の発生件数は横ばい傾向。積極的に取り組む水道管更新事業や漏水調査により、漏水事故は抑制されている。

料金収入が減少するので、水道管を含む水道施設やポンプなどの機器の更新が遅れることが想定される。

水道施設の規模を最適化するため、水需要予測の見直しを行い、水道施設能力の最適化、人口の集中度に合う水道管網の見直しなど、事業運営の効率化を図る。

質問 大規模な陥没事故の発生する危険性は。

町長 テレビカメラによる調

査を実施している。腐食などにより、緊急度の高い箇所が認められた場合は補修や更新を実施しており、陥没事故は発生しないと認識している。

婚姻届の記入例

夫、妻両方の氏で

質問 本町の婚姻届の記入例は、婚姻後の夫婦の氏を、夫側にチェックを入れる例になっている。この記入例は、男女の役割などへの固定的な思い込みや偏見につながり、無意識に妻の氏の選択の余地を奪ってしまっていないか。

町長 今後は夫の氏を選択した記入例と、妻の氏を選択した記入例の両方を提供する。

宿泊型産後ケア 拡充の考えは

方向性を調査研究

質問 核家族化で親や親戚を頼れない妊産婦が多い。宿泊型の産後ケアは、日中



災害に備えた東部配水場（藤沢地区）

だけでなく夜間の育児・家事の負担軽減ができ、夜間授乳のサポートなどもある。

本町での宿泊型産後ケア拡充の考えは。

町長 県では今後、産後ケアについて市町村と議論する機会を設けるとの報道もあり、町でもこの事業の導入や方向

性を調査研究していく。

質問 産後の女性が不安を抱えることが多くなった社会に対して、少子化対策、産後うつ防止、児童虐待防止を目的とした「産後ドゥーラ」の新規導入について伺う。

町長 一部導入済みである。

※産後ドゥーラ…出産後の母親と赤ちゃんをサポートする専門家のこと。家事や育児、心のケアなどを役割とする。

農商工共創協議会の充実を 産業活性化に向けて取り組む



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(新誠会)

動画は
こちら



員の募集対応など地域農業の
担い手の育成に努める。

学習正常化への 対応策は

学校側と協議し
進める

質問 昨年7月以降、学級崩壊で学習環境の正常化が保てないと複数の保護者から相談を受けている。半年経っても改善できない状況はなぜか。

教育長 学校に対し、初め段階から子どもの声を聞いて保護者および家庭と協力して、一緒に解決を図ることの必要性を助言してきたが、未だに解消に至らず残念である。

なお、事象の有無など詳細を調査中であり、これ以上述べることは控える。

質問 子どもも保護者も、願うことは学習環境の正常化である。子どもと教師の信頼関係を取り戻し、1日も早い学習環境を整えてほしいが。

教育長 学校側と連携し学習



高齢化が進むオペレーター

環境の早期正常化に努めたい。

集落支援員制度 の活用は

伴走できる人材の
募集を検討

質問 町のコミュニティ活性

化のために、集落支援員制度を活用してはどうか。

町長 集落支援員の具体的な募集を行う段階ではないが、現在、町と地域コミュニティが連携し取り組んでいる小学校区単位で広域連携する仕組みづくりに伴走できる人材の募集を検討している。



やまもと よしあき
山本 好章 議員
(新誠会)

動画は
こちら



学校の教育環境整備は 小学校にも大型提示装置を導入

質問 令和7年度に教材備品購入の予定は。

教育長 小学校4校の普通教室に大型提示装置を導入するほか、令和2年度に※GIGAスクール構想で導入した児童生徒の一人一台端末については、リースでの更新を予定。

質問 本町で理科教育設備整備費等補助金が活用されていない理由は。また、今後活用する考えは。

教育長 平成29年度まで理科教育設備整備費補助金などを活用して購入していたが、授業に概ね支障がない水準まで整備が進んだことを踏まえ、その後は各校でその都度必要な物品を購入しながら対応。状況を注視しながら同補助金の活用を検討していく。

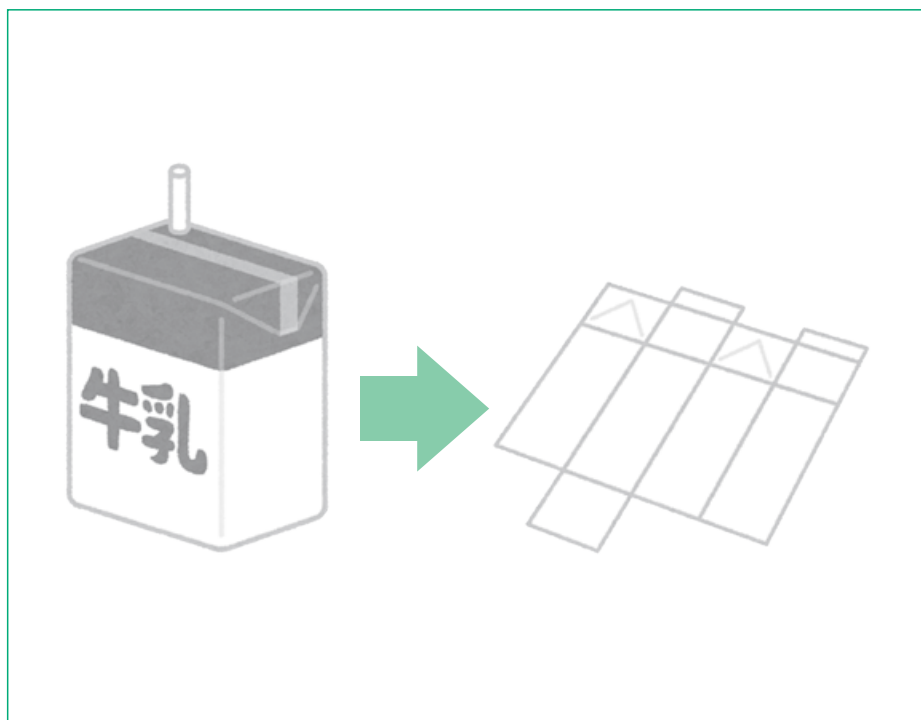
質問 学校から排出される一般廃棄物の収集方法や経費は。

教育長 他の公共施設と同様に収集運搬業者が収集を行い、経費は町の予算で負担。

質問 牛乳紙パックが燃やせるごみとして出されているが、

資源ごみとしてリサイクルすることはできないか。

教育長 環境教育の観点から使用後の紙パックを捨てずに回収し再び資源化されるまでのプロセスを体験することは有意義であり、実施の可能性を検討する。



学校給食の紙パック、リサイクルに取り組んでみては！

質問 町内各学校の体育館に授業や災害時に備え、早急な空調設備対策を。

教育長 災害時などに学校施設が避難所となる場合は、町と災害協定を締結している事業所からの協力で、スポットクーラーなどの冷房機器の設置を行う。

国の補助金などを活用した学校体育館への空調設備導入についても検討している。

盛岡南道路の 進捗状況は

今は予備設計段階

質問 令和6年3月以降、地元からの要望などはあったか。

町長 新たな要望は受けていない。

質問 現在農道として利用している周辺町道への影響について心配の声が聞かれるが。

町長 営農に大きな支障をきたすことが無いよう、地元の方々の意見を国に届けていく。

地域活性化と健康づくりは 地域の組織づくりに努める



たかはし けい た
高橋 敬太 議員
(子育ても老後も)

動画は
こちら



質問 看護師が居場所づくりを行い、日頃から住民と接することで、健康づくりを行う

質問 現在行われている※地域カルテの作成は、地域課題への当事者意識と地域の魅力を発信する活動へ繋がることを期待している。各地域で地産地消の農家レストランを開くなどそれぞれの特性を活かし活性化につなげる考えは。

町長 現在はまだ準備段階であるが、将来的には地域の組織による活性化を目指していきたい。夢をどのように実現していくのか、いかに楽しく喜びを持って活動できるか仕組みづくりが大切であり、地域の組織については先進地の視察も行い進めていきたい。

小さな拠点及び地域経営組織形成による効果

①生活利便性向上
・地域住民組織がマイクロスーパーを運営し買物利便性を改善
②雇用創出・所得向上
・山間部の道の駅が特産品で集客し雇用を創出 ・地域住民が「ミニ道の駅」を運営し主婦の所得向上に貢献
③地域の経済循環
・地産地消を実践する農村レストランが地域経済を活性化
④交流人口の拡大・移住促進
・地域住民が6次産業化に取り組み宿泊施設と農家レストランに集客 ・山間地の廃校を活用した宿泊施設が年間1,000人の宿泊客を集客 ・里山体験や農業体験を通じて地域の魅力を発信し交流人口が増加
⑤高齢者の外出促進・見守り、高齢者の体力維持
・食料品店と移動サービスが高齢者の外出を促進 ・住民が運営する高齢者交流施設での体操が高齢者の体力向上に貢献
⑥行政コストの削減
・地域運営組織が窓口業務を受託し支所機能の維持と行政コストを削減

(出典) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局内閣府地方創生推進事務局
(平成29年3月) より抜粋

町長 取り組みもあるが本町では。保健師が各居場所を訪問して対応している。将来的に健康づくりや生きがい創出に取り組み人材は必要である。

質問 岩手医大看護学部とも連携し、地域実習の場とすることで、世代間交流も生まれ貴重な場となるのではないかと。

町長 看護師のみならず地域で活躍する人をまとめて組織することで、健康福祉・介護

質問 最新技術の活用も有効である。※ライフスタイルセンシングの導入を検討しては。

町長 情報収集し確認したい。

質問 高齢独居世帯の見守りは非常に大切である。これまでに倒れてから発見が遅れた事例などはあるのか。

町長 そのような報告もある。

**やり方を考えて
町民負担軽減を
町民の声を聴き対応**

質問 各種負担軽減のサポートをお願いしたい。防犯灯について、通学路など必要な所には自治会の負担ではなく町主体で設置すべきでは。

町長 各コミュニティの理解も必要で協議が必要である。

質問 本町の固定資産税の納期は一般的なものではなく、第4期(最後)を11月末と定めている(地方税法とは異なる設定)。冬のボーナス前に全てを納付しなければならず負担だという声もある。近隣市町では第3期が12月25日、第4期が2月末などである。

町長 現在は会社員の方も多く負担軽減のため見直しては。納期については初めての指摘であり、直接の要望もまだない。納期内に納付はされておらず、変更の考えはない。要望が増えれば検討する。

※地域カルテ…自分たちの地域の現状を把握し、魅力や課題を明らかにするために作成される資料。

※ライフスタイルセンシング…家電電力使用データの分析結果から居住者の体調変化などを早期に検知し、病気予防や医療費削減などにつながるサービス。

新設体育館の建設推進を 覚書の在り方を整理する



おがわ ふみ こ
小川 文子 議員
(日本共産党矢巾町議団)

動画は
こちら



質問 この4月から不来方高校は盛岡南高校と統合されるが、南昌みらい高校として新設されるにあたり、新体育館を共創プロジェクトで進めた趣旨を伺う。

町長 矢巾町民や児童生徒が競技スポーツや健康増進のために体育館を利用できるようにすることである。特にハンドボールは盛んに行われており観客席のある公式試合が可能なコート2面を整備することを共創プロジェクト履行の基本事項に据えて岩手県教育委員会との約束として対応してきた。

質問 現在建設は中止されているが、町民から建設の推進を望む声があることから、子



新設体育館の建設予定地

どもたちのためにも進められないか。

町長 岩手県教育委員会の考え方、これまでの姿勢について丁寧な説明をいただかなければならない。その上でしっかりと整理していく。

今後の町農業は 主食用米の増産 などに取り組む

質問 昨年から米不足が生じている。農協と連携し町内産米を増産できないか。

町長 対前年比4・4%、面積換算で41ヘクタール増を国から示されたため今後進めていく。

質問 新規就農者を増やす取り組みは。

町長 農業次世代人材投資資金交付事業や矢巾町親元就農給付金事業と併せ、農業指導

マネージャーの設置、岩手中央農協や盛岡農業改良普及センターとの連携による営農指導体制を構築し対応している。

質問 農業用機械の支援と今後の取り組みは。

町長 町単独事業として、やはば農業担い手補助事業で支援しており、令和7年度当初予算は対前年比で200万円増である。国庫補助も併せて直近3年間で89件の補助実績がある。

煙山保育園の 今後の方向性は

特別な保育に特化

質問 煙山保育園は、こども誰でも通園制度や一時預かり、休日保育、医療的ケア児の保育など、特別な保育の方向性が示されたが、従来の保育機能は残すべきではないか。

町長 今後の少子化の影響から特別な保育に特化し、多種多様な保育ニーズに対応し質の向上を図っていく。

チャーハンのまち矢巾を 主食用米の消費拡大を検討



よこさわ しゅんいち
横澤 駿一 議員
(強くやさしい矢巾)

動画は
こちら ▶



質問 食と農を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いている。「食と地域おこし」というキーワードで、農業を後押しする施策も有効であると考えられる。本町の農業産出額一位の米の消費拡大へ繋げる具体的な施策として「チャーハンのまち矢巾」として、町内飲食店や給食センターなどと連携をして、米の消費拡大を図ってはどうか。

町長 本町は主食用米の産地として高品質な銀河のしずくを主力品種に生産が行われている。なお、一般的に飲食店や調理場においてチャーハンに使用する米は業務用米であることから、町産主食用米を使用した場合は割高になることも見込まれるが、質問の趣

教育課程に 郷土芸能を

旨である消費拡大に繋がる取り組みについては、これまでの学校給食や岩手医科大学附属病院での病院食への提供と併せ、関係者と検討していく。



矢巾町産米を使用している飲食店のチャーハン

現段階では難しい

質問 小中学校や保育施設と連携して、部活や課外活動の一部として伝統芸能と触れ合う機会をつくることで伝統芸能の伝承、子どもたちへの郷土教育、大人と子どもが共に育む地域づくりへ繋がると考えるが、そのような機会を取

り入れる考えはないか。

教育長 現在の枠組みの中で教育課程に位置付けて実践していくことは、現段階では実現が難しい。今後、各地域において、子ども・学校・関係団体などが資源を出し合い、持続可能な取り組みを協議・議論することで、郷土芸能の伝承に寄与する可能性を含んでいるものと認識している。

民間事業者の 合理的配慮は

把握していない

質問 令和6年4月1日に、障がいがある方への「合理的配慮の提供」が民間事業者へも義務化されたことに伴って、町としてどのような周知を行ってきたか。また、町内の民間事業者の合理的配慮の実施状況は把握しているか。

町長 合理的配慮についての民間事業者への周知および実態の把握はしていないが、今後商工会などと連携し、周知に努める。



課題解決への真摯な取り組み

今回で2回目の傍聴となります。当日は午後からの傍聴となりましたが、矢町にもさまざまな課題があることを改めて認識した次第です。

女性議員の産後ケアのサポート拡充などについての質問に対する町長の誠意ある答弁はわかりやすいと思いました。

また、ベテラン議員からの町内の学校で発生している事案についての質問では、教育委員会が学校と連携し、保護者の方々と現況を共有し、アンケートの実施と指導への取り組み、保



間野々行政区自治会長

よしだ ひでとも
吉田 英友 さん (間野々)

護者への結果フィードバックと改善協力依頼、スクールカウンセラーによる心のケアの実施など、具体的な取り組み状況の報告がありました。早期の正常化を願います。

最後に、新人議員がICT教育環境の整備だけではなく、理科教育の充実、環境教育、「ことばの教室」などの必要性を質問されていました。新しい視点の質問であり、変化に対応できる町民の代表として、今後とも議会活動に取り組まれることを望みます。

議会のあり方調査検討特別委員会に

分科会を設置

議会のあり方調査検討特別委員会では、1月23日に委員会を開催した。そこでは各事項を詳しく分析するために、分科会を設置することにした。各分科会の選任は下記のとおりである。

その後、4つに分けた分科会ごとに、各分科会の目的(方針)、検討・調査事項の優先順位などを話し合い、委員会で、方針について次のとおり報告があった。

今後は、各分科会で決めた方針などに従い、具体的な行動計画を作成し、進めていく。

各分科会の方針・構成

議会の見える化に関する分科会

会議等に関する分科会

方針 住民自治の視点から、広報・広聴活動を通じて地域民主主義の実現を図り、開かれた議会活動の促進を図る。

構成

分科会長 藤原 信悦
副分科会長 赤丸 秀雄
委員 高橋 恵
吉田 喜博

議員定数・議員報酬・政務活動費に関する分科会

方針 議員定数・報酬・政務活動費は相関関係にあることから、それぞれ同時進行で調査・議論していく。

構成

分科会長 齊藤 勝浩
副分科会長 横澤 駿一
委員 水本 淳一
村松 信一
谷上 知子

方針 会議などについて調査・検討し、みんなが参加しやすく、また、町の発展のために活発な熟議の場として町民にとって開かれた議会を目指す。

構成

分科会長 高橋 敬太
副分科会長 山本 好章
委員 小川 文子
小笠原佳子

諸課題などに関する分科会

方針 当議会における諸課題等について調査・検討し、議員の資質向上および議会の活性化を図り、議会運営が円滑に行われるようにする。

構成

分科会長 ササキマサヒロ
副分科会長 昆 秀一
委員 高橋 安子
木村 豊



地域密着型の総合リサイクル店を目指す

ReユースBOSS (ショッピングモールアルコ内)

たか はし ひろ ふみ
高橋 博文さん (花巻市在住)

楽しいから やりがいのある人生

私がこの仕事に就く前は、調理師をしながら副業でTシャツのデザインをする仕事をしており、元々、服を作製することや服に興味はありましたが、実を言うと古着の知識は全くなく、働き始めてから沢山の衣類に触れ、バイヤーと話をするようにになり、古着の世界はかなり深く知れば知るほど面白くて、今ではその魅力にどんどんハマっている状態です。

以前は3店舗の古着屋を経営していましたが、経営の経験を積み重ね、現在は矢巾町の「ショッピングモールアルコ」内に勤務させていただき14年となります。

初めは「古着屋BOSS」の店名でしたが、令和5年から「ReユースBOSS」に改名し、古着だけをメインとせず、家電製品や小物・雑貨まで幅広く取り扱う総合リサイクル店を目指しています。

スタッフの中には妻もいるのですが、家では家族、お店では相棒のような存在で、常にお店をどのようにすれば良いかを雑誌やネット・店舗周りをして勉強しています。

そして、私がこの仕事をしていて喜びを感じるのは、自分達が仕入れてきた物や、お客様から買取りさせていただいた商品を、一つ一つアイロン掛けや磨きをかけた後、綺麗にした商品をディスプレイしてお客様の手に渡ることを想像しながら作業するそのわくわく感だったり、購入していただいた商品を手につけて再来店してくれる、これが本当にやりがいがあると感じています。

今後は、不要になった物を地域密着型で地域の人達とリサイクルしあっていたらと思います。より良い循環型社会矢巾町を目指していきたいと思っています。

読者からのご質問について

矢巾1区の男性より、年配者の集まりで議会だよりが話題となり、(1)専門用語や横文字などが多くてわかりにくい、(2)1月発行号の写真の中に古いと思われるものがある。また、掲載承諾を得ているのかとの質問が寄せられました。

専門用語などについては、これまでも編集会議で解説が必要か検討し、注釈を付してきました。今後も、他紙などの事例も参考に改善してまいります。

また、人物写真の掲載には、ご本人などの同意を得ることを前提としており、許可を得た写真のみ掲載しているところですので。

今後とも、親しまれる議会広報紙の発行に努めてまいります。

編集委員長

藤原 信悦

発行・編集責任者

議長 廣田 清実

編集委員

委員長 藤原 信悦

副委員長 小笠原佳子

委員 高橋 恵

委員 高橋 敬太

ササキマサヒロ